



# さとやま

## 今月の見どころ

## 新緑の中の花



アメリカヒトツバタゴ

新型コロナウイルスで、閉園になってしまったいきものふれあいの里ですが、生き物たちは季節に合わせた営みを続けています。4月下旬から5月上旬には藤棚や里のあちこちでフジの花が、5月上旬から中旬にはセンター前のアメリカヒトツバタゴがなぜか東側の側の木から順に白い花をつけていきます。

駐車場入り口では、ヤマボウシの木の花が来場者を出迎えます。菖蒲池では、カキツバタがハナショウブより一足早く花を咲かせます。咲き始めは白く、後で黄色に変化することから、別名「金銀花」と呼ばれるスイカズラが、里山エリアの木々に絡んでよい香りを放ちます。ハンノキ広場では、エゴノキの花が見られ、中央広場上の道ではサワフタギの花が、沢ではなく道に蓋をするように見られます。トンボの里では、竹林には波が立つように咲くタツナミソウ、湿地には大きな穂をつけるゴウソが群生します。

万灯山へ向かう道では、プロペラのようなテイカカズラの花が見られ、万灯山山頂では、フデリンドウに代わって、ソクシンランが咲きます。ソクシンランは名前にランとつきますが蘭の仲間ではありません。

コロナが終息し、新緑の中のこんな花たちを探して里を散策したいですね。



ヤマボウシ

カキツバタ

スイカズラ

サワフタギ

ヤマトツナミソウ

ゴウソ

テイカカズラ

ソクシンラン

## 里の生き物紹介 エゴノキ

5月、ハンノキ広場でかわいい下向きの花が鈴なりに咲いている木を目にします。駐車場や、万灯山へ向かう道でも見つけることができます。



エゴノキはエゴノキ科の落葉樹で、日当たりのよいところを好むため、雑木林の端や、谷間などに見られます。庭木としても利用されています。

枝先に1～6個の花がつきます。下向きにつくため、ハエやアブなどの脚の弱い虫はとまることができず、主にハナバチの仲間が受粉するそうです。

花が終わると、ツバキのように花弁と雄しべがつながったまま地面に落ちるので、花がそのまま落ちているように見えます。落ちている花から存在に気が付くこともあります。

花のあと初夏に灰白色の実がなります。その実のなっている様子から、動物の乳に見立てて、「乳なりの木」から「チシャノキ」という別名もあるそうです。

この実はサポニンを多く含んでいて、口にするとえぐみがあるためエゴノキと名がつけました。サポニンは界面活性作用があるので、若い実をつぶして上澄み液をとり、石鹸の代わりにすることができるのだそうです。実の中には大きな種子が1つ入っています。ヤマガラの好物だということですよ。





ところで、この木に花が咲く頃、葉がきれいに巻かれてぶら下がっているのを見つけることがあります。これは、**エゴノツルクビオトシブミ**という昆虫の仕業です。

オトシブミの仲間のメスは、種によって特定の植物の若葉を巻いて、幼虫のゆりかごにします。中には卵が1つ入っていて、幼虫はその葉を食べて育ちます。種によっては、ゆりかごを地面に落とすものがあります。恋文を相手に拾わ

せるようわざと落とす「落とし文」に見立てて虫の名がつけました。万灯山へ向かう道で、**ナミオトシブミ**のサクラの葉のゆりかごを拾うことができます。

エゴノツルクビオトシブミは葉を落とさない種類です。



花が終わる頃、実は全く違うバナナの房のような形のものができるとあります。「エゴネコアシフシ」と呼ばれるものです。

これは虫こぶで、中にはたくさんの**エゴネコアシアブラムシ**がいます。樹液を吸う刺激でこのような形になるのだそうです。

このように、エゴノキは鳥や昆虫など様々な生き物たちとかわりを持っています。



## さとやまニュース

あーむけはしの架け替えが終わりました。以前のものとは違い、両脇にベンチがつけました。

「あーむけ」とは、三河弁で上を向け（仰向け）という意味です。ベンチに腰掛けて上を向いてみましょう。様々な鳥や昆虫たちが飛び交う様子が見られます。



ハイタカやチュウヒなどの猛禽類が飛ぶ様子がみられることもあります。

また夏には、タマムシが日光を受けて、輝きながら木々の間を飛ぶ姿をみつけられるかもしれません。



## 4月の行事紹介



「春が旬“タケノコ”掘りⅠ」が4月5日に開催されました。例年、申し込み開始とともに予約が定員に達するほどの人気があります。今回は、新型コロナウイルスの影響で開催が心配される中で行われました。子どもたちは保育園や学校がお休みで、久しぶりの外出だったのか、好天に恵まれた中、気持ちの良い汗を流しながらのタケノコ掘りで、ストレスが発散できたととても喜んでいました。しかし、7日から閉園となったため、残念ながら「“タケノコ”掘りⅡ」は急きょ中止となってしまいました。こんな時だからこそ、「手洗い・うがい・消毒」と「三密ルール」を徹底して開催したかったです。

次回は、里山で見かける野の花たちの開花状況をお知らせします。

## 5月の行事予定

※ 5月10日まで「閉園」により、5/3「雑草で紙をすいてみよう」5/10「昔ながらの稲作(田植え)しようⅠ」5/17「かわいい苔玉を育てよう」の3講座は「中止」とさせていただきます。

## 6月の行事予定

7日(日)	初夏の花飾りで遊ぼう	20名	AM9:30~11:30	河江喜久代
14日(日)	自然を楽しむ俳キング	20名	AM9:30~11:30	服部くらら

- ◆ 参加受付は、各講座の3週間前の午前8時30分から先着順で来園及び電話にて受付します。また、申込は本人、もしくはその家族までとします。
- ◆ 天候や少数(6名以下)などによる講座の中止、又は受講内容の変更をする場合があります。
- ◆ 原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。

## 西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部環境保全課